

少女たち

侵され

は

穢され

墮とされる

成人向け
R18
ADULT ONLY
18歳未満
購入・閲覧禁止

転載禁止 | DO NOT REPOST
禁止转载

少女たち

は

侵され

穢され

墮とされる

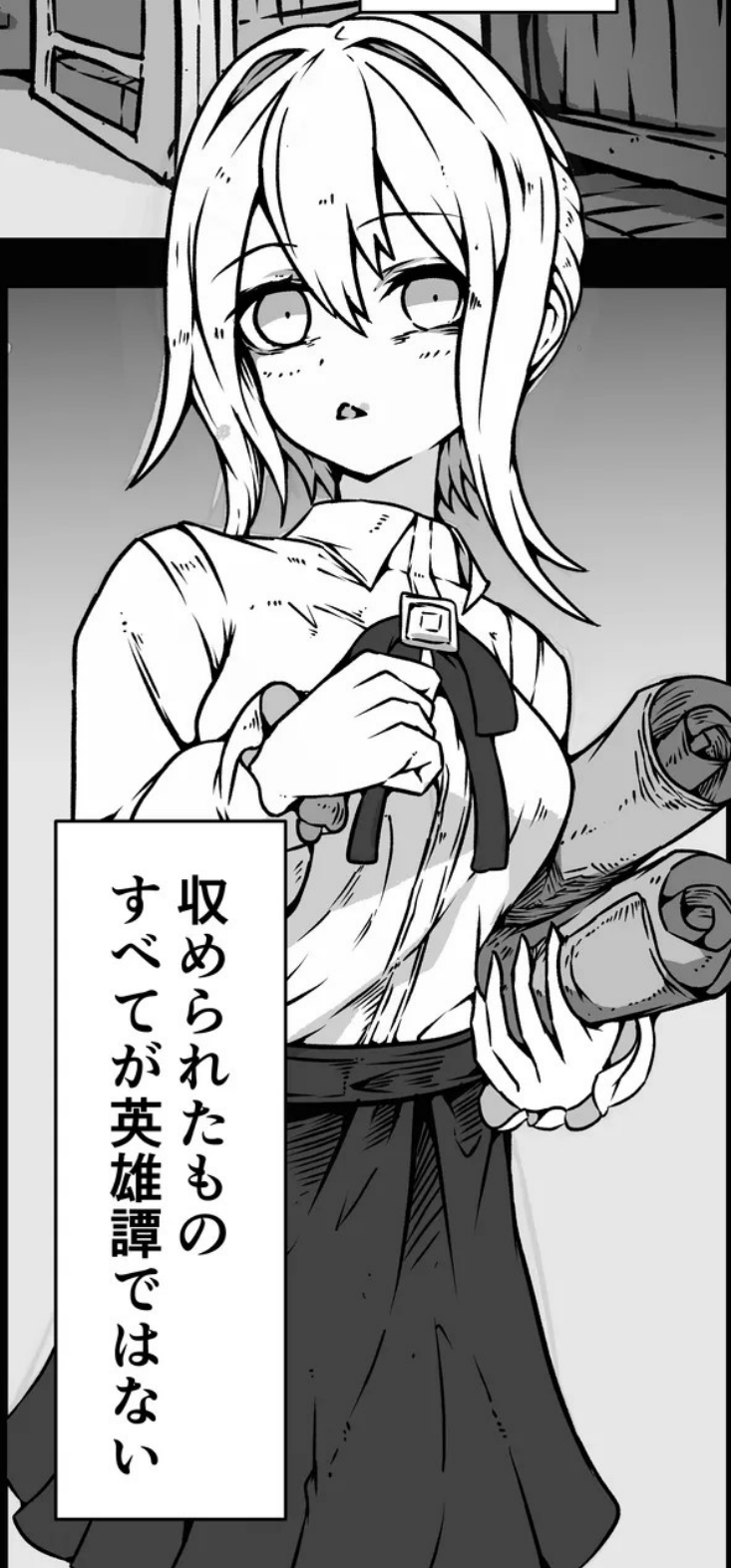
成人向け
R18
ADULT ONLY
18歳未満
購入・閲覧禁止

転載禁止 | DO NOT REPOST
禁止转载



ここは迷宮街の
中核である組合
その記録保管室

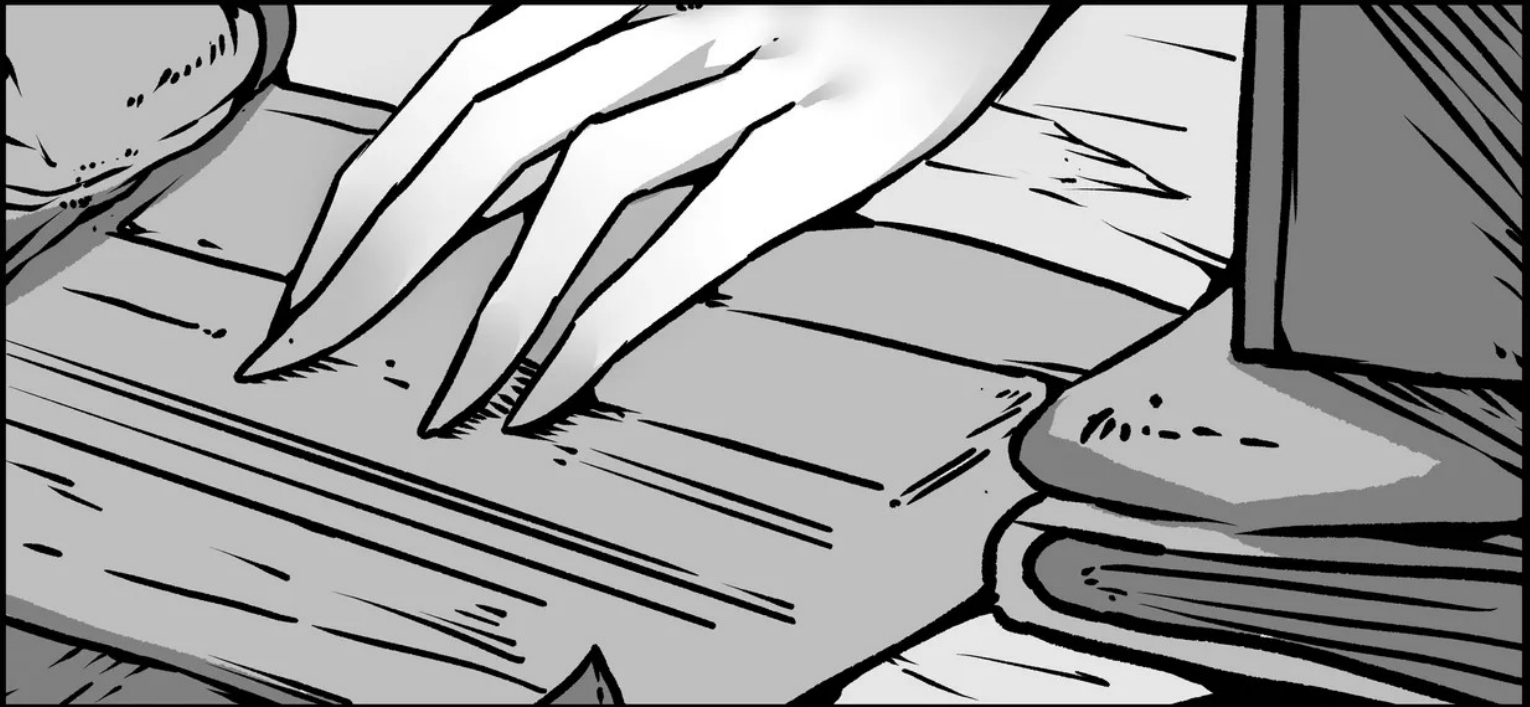
深き迷宮探索の記録が
詰まった場所



収められたもの
すべてが英雄譚ではない



ここには表に出ない
探索者たちの悲惨な
末路も多く記録されている



たとえば：
この棚に無造作に
置かれてる巻物には

経験の浅い者達が
変異した触手群
に弄ばれたことが




こっちには
増殖した粘液種による
初期被害について

その次は：ふむふむ
蛆巳様と呼ばれる個体と
保護された少年の聞き取り
について：






蛆巳様の巫女
迷宮街から遠く離れた山奥の集落
そこでは蛆巳様と呼ばれる個体を
崇める風習と巫女を捧げる儀式が
行われていた こちらから見れば
異常でも彼らにとっては正常なのだ



多種多様な人と金：
そして権力が集まる
迷宮街とは反対に

街から遠く離れた
北方の辺境では
閉鎖的な集落が点在する



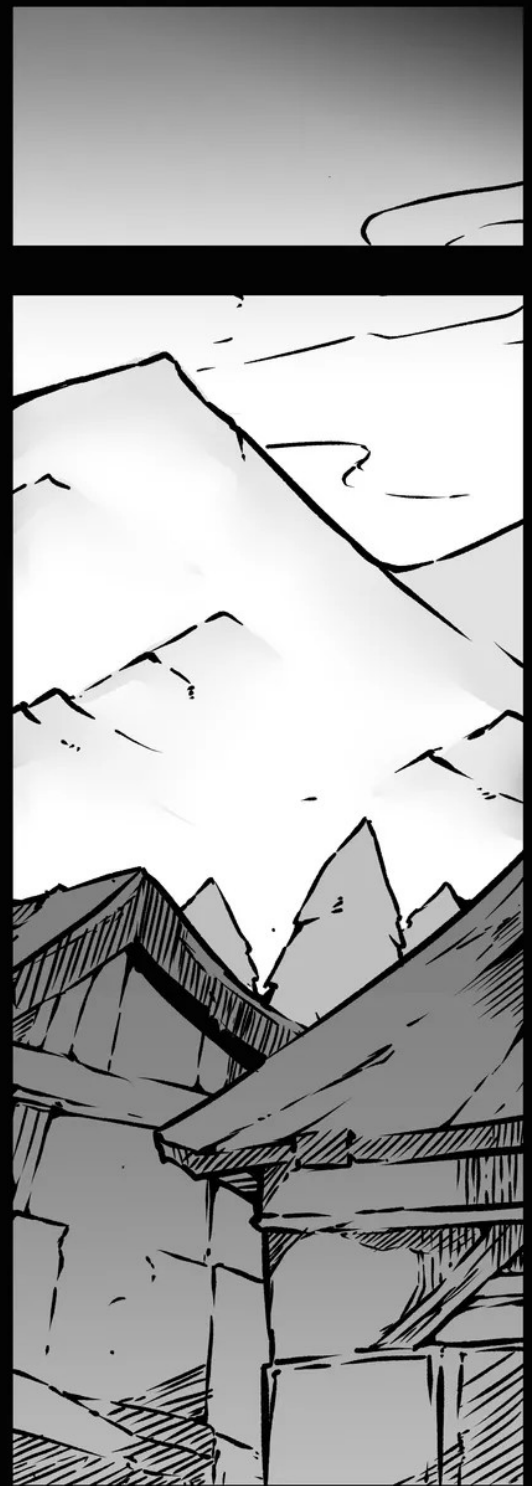
このような集落の中には
外界から隔絶されているため
教会や国の調査が入らない：

邪教徒の文化・忌まわしき儀式
その犠牲者は現在も
絶える事がない：



供物の用意
できてるか？

おいそこ
準備のじゃまだ



これからトワ姉は
蛆巳様に捧げられる

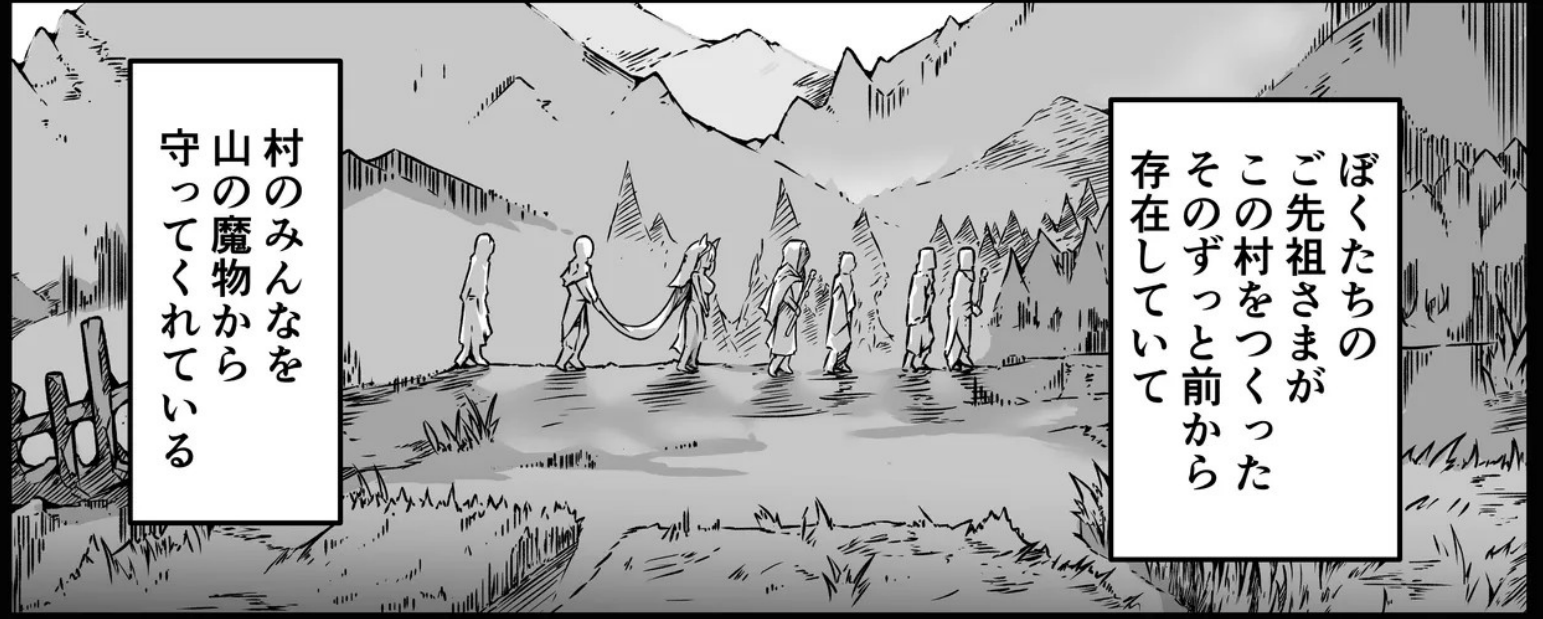
.....



そんな顔しないで
別に死ぬわけじゃないし
このお役目は名誉な
ことなんだよ？




蛆巳様



村のみんなを
山の魔物から
守ってくれている

ぼくたちの
ご先祖さまが
この村をつくった
そのずっと前から
存在している



数年に一度
村から巫女役を選び
捧げなきやいけない

その代わり
感謝と祈りの証として

捧げられた後
トワ姉は巫女として
蛆巳様のそばで仕える

そうして役目を
終えるまでの十数年を
聖域で過ごす…



ほんとは
ここには…

来ちゃいけない
のは…
わかってるけど



じ

薄暗い明かりの中
ぼくが見たのは


蛆巳様の眷族に
嬲られているトワ姉…

そして…発情させ
られている様子を
無機質に眺めている
蛆巳様だった…




その光景に呆然と
目を奪われてたとき

トワ姉と目が
あった気がした



でも…次の瞬間には
蛆已様がトワ姉に
覆いかぶさって…

あっ!?



後のことは
よく覚えてないけど

体液と…トワ姉の声
がずっと聖域に響いてた



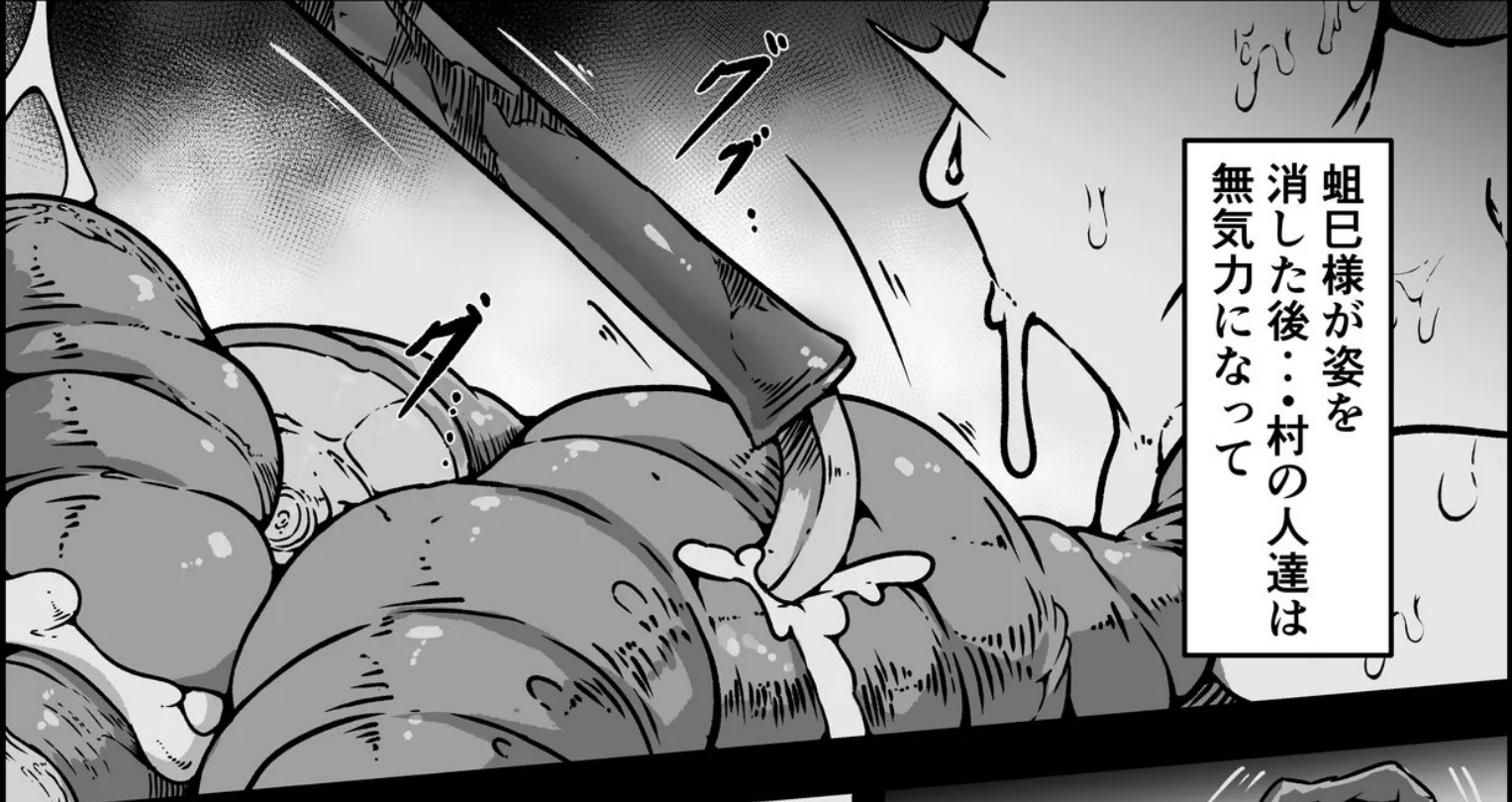
結局…ぼくは逃げ出して




次に…トワ姉の…変わり
果てた姿を…見たのは



数ヶ月後に街から来たって
いう調査隊？…の人達に
全てを話した後だった



蛆已様が姿を
消した後：・村の人達は
無気力になって



支援の代わりに
ぼくも半ば強制的に
始末を手伝わされた…



そして大変
なのが…



トワ姉と…
聖域の奥で生きていた
巫女達の…対応だ



街からきようかい？
の人達が来るまで
辛抱とっていただけ




トワ姉や巫女達の
この…淫鬱な光景に
ぼくは…






沼影の肉道具

中層の沼地で複数の探索者を襲撃し
別名 沼影のナグルと呼ばれる小鬼は
狡猾で残忍であり 他の魔物との取引
で得たと思われる魔眼と沼地の罫を
駆使する 対策をしない探索者は
肉道具か食肉に変わり果てる



不気味な影と濃霧に覆われた
迷宮中層の沼地
ここで最近被害を出している
小鬼の一団の調査が行われた



行方不明になっていた一党が
最後に訪れ襲撃にあった
と思われる場所では

肉に加工されたと思われる
残骸と凌辱の跡が残るだけであり
捕まった者は巢に連れていかれた
と思われる





沼地の貸出し肉道具

沼地のナグルは捕らえた雌を全て消費するのではなく一部を他の魔物に貸し出すことで対価として普通の小鬼では手に入りにくい魔道具や素材を得て勢力を拡大させているようだ


飼育される雌
捕らえた探索者の雌を飼育で
きるのは功績を上げた個体だけ
でありその他の多くは共有の肉道具
を使う 騎乗し巣穴内を連れ歩く
ことで地位を誇示してるそうだ





迷宮
中層の沼地

腐食した
木々と根



泥濘と苔と茸に
覆われた世界

霧に隠れて
存在する
小鬼の巢



そこでは
今日も

淫惨で
悲惨な叫びが
響いている



湿った沼地の空気と
血と腐敗の匂いの中



こうしてオレの
一日がはじまる



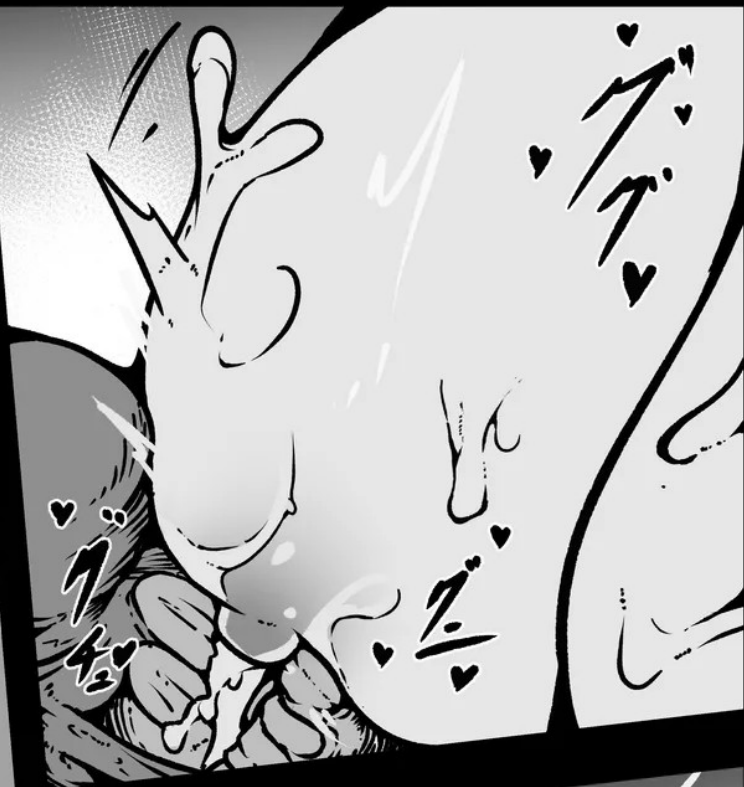
肉布団をどけ
目を覚ます

まずは飼育している
メスの乳で喉を潤す…

これがなくては
やる気も出ない



甘味があり…
極上の喉ごしだあ



このメスを捕らえて
から時間をかけ

魔草や淫蟲で
改良して正解だった



それだけではない

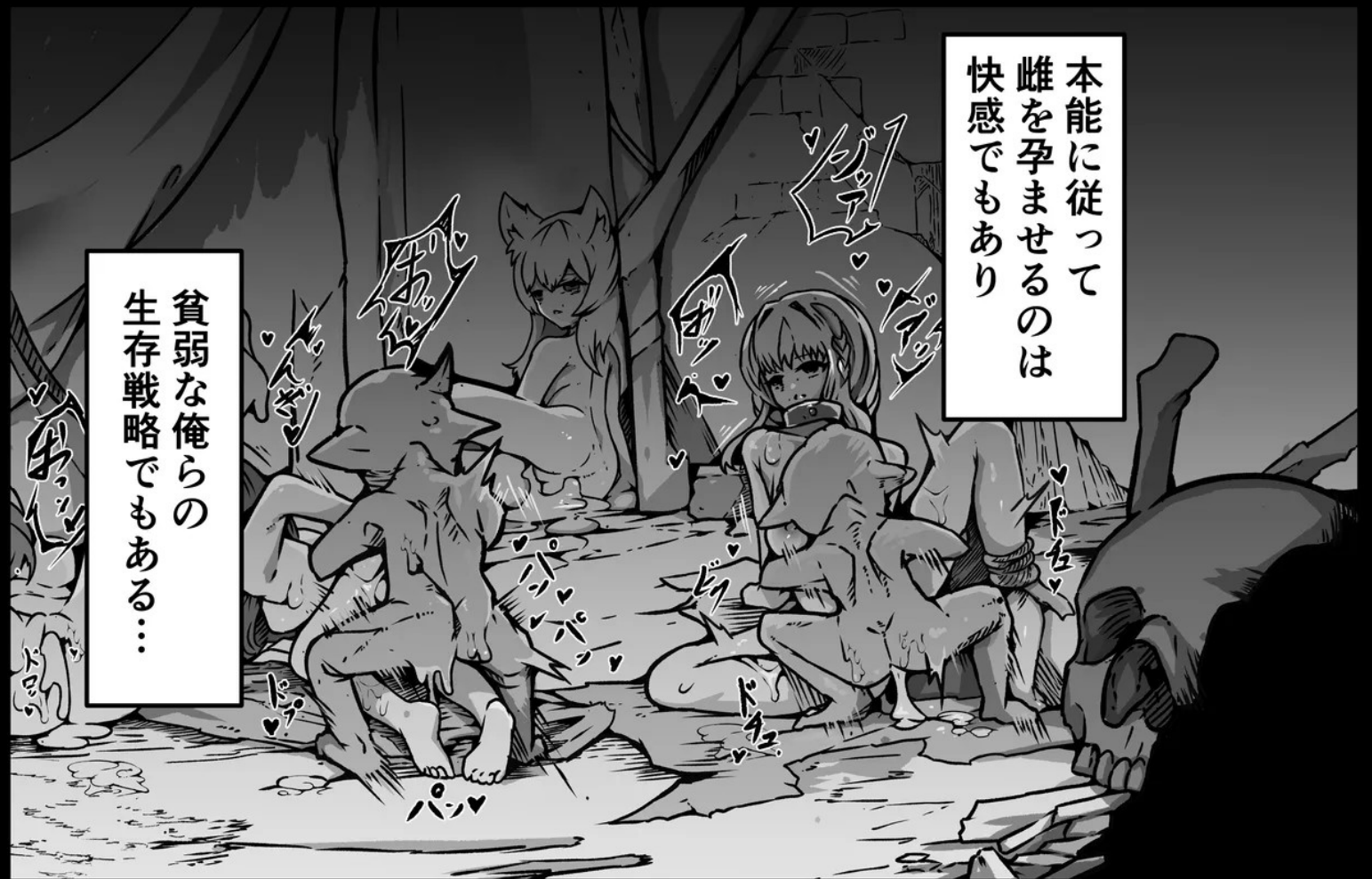
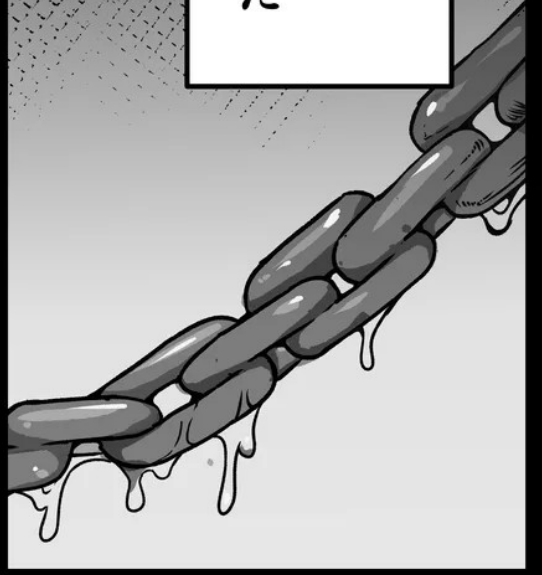
手下の為に大量の
乳が取れるメスも
用意した

手柄を立てたヤツには
専属のメスも与えた

どれもこれも
俺のおかげだ



喉を潤したら…
次は繁殖用の
孕み袋へ種付けだ



貧弱な俺らの
生存戦略でもある…

本能に従って
雌を孕ませるのは
快感でもあり



目の前でお仲間を煮込んで
出してやれば大体大人しくなる



孕み袋の中にははじめ
反抗的なメスもいるが…

お前ら全員
殺してやるからなっ!!



それでも抵抗する
メスを痛めつけ…
孕ませるのも悪くない





メスを孕ませ

孕ませ



これだけ楽しめるのも：俺のおかげだ



孕み袋をつくりだす



捕らえたメスも
：増えていった



武器も道具も



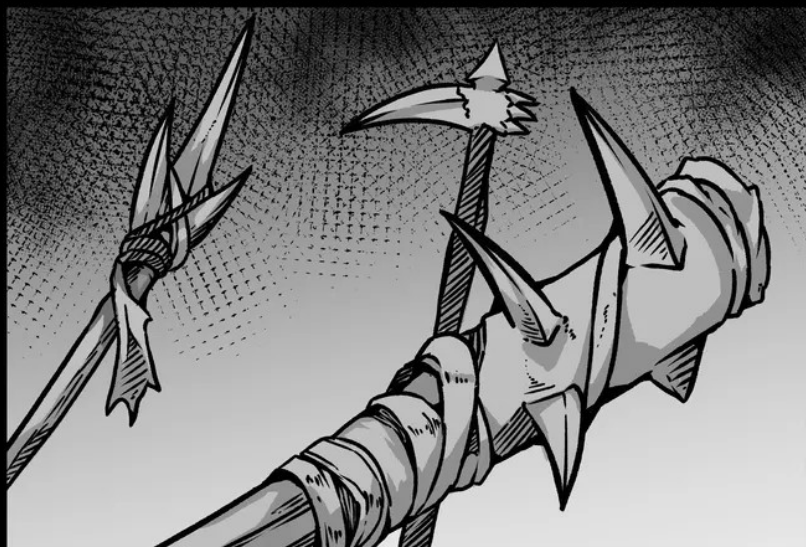
無能なボスを殺し
オレがこの巢の
長になってから



危険を負ってでも
もっと多くの
より質の高いメスを
捕らえる必要がある



だが足りない
オレ達は未だ弱く
数も十分ではない



だからこそオレ達は
縄張りに入ってくる

愚かな探索者を
今日も狩りに出る…

寄生虫_潜伏

遠方の戦場から持ち込まれたと思われる
体内寄生型の魔蟲が浴場で発見された
既に犠牲者は複数出ており 早急な対策が
求められている



報告によると
迷宮街の内部であり
同性しかいない
浴場などの施設
公的監視が少ない

そんな油断する
環境で寄生者は対象を
襲っているようである



持ち込まれた
寄生型の魔蟲

寄生されても
初期段階であるなら

薬剤で治療が可能だが

気づかぬうちに
肉体を弄られ
操られてしまう者が
すくなくない

だめっ

おお

やばい

あっ



…なんて 最初は
もうだめだって

思ってたけどっ



こんな…につ!!
気持ちいいなら…



もっと早くに
寄生されたく
んだったっ





だってこんななに
気持ちいいんだもの

それに無防備に
近づくアナタも
悪いんだよ？



こんなによわよわで
可愛いくせに

私のこと
警戒しないし

あっ



コンコン...



んっ
あゝでも
反応鈍くなってきて
つまらないなあゝ

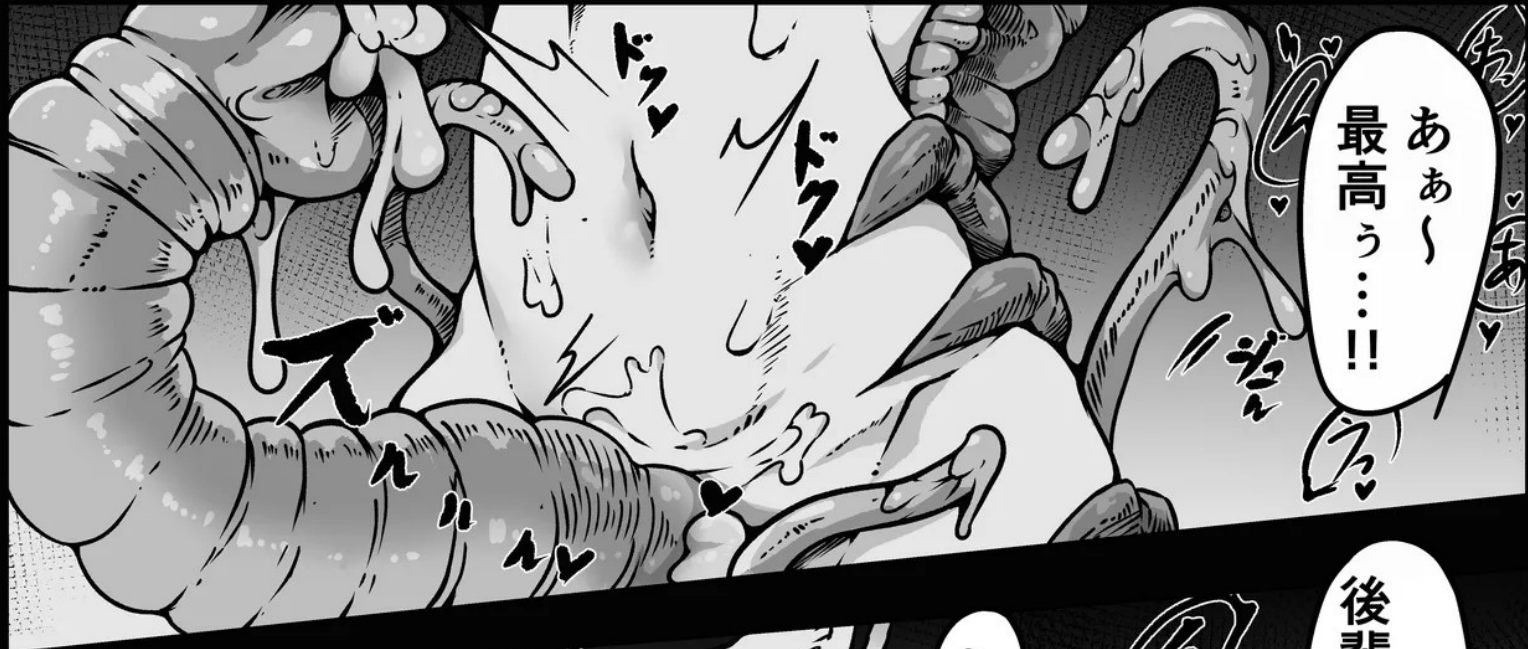


お...
お客...

すいません...
もう少し



お静か...
に!?



ああ最高う...!!



お店の子も

後輩ちゃんも...

そのお友人ちゃんもよい肉玩具...!!



次はあ

どの子にしようかなあ



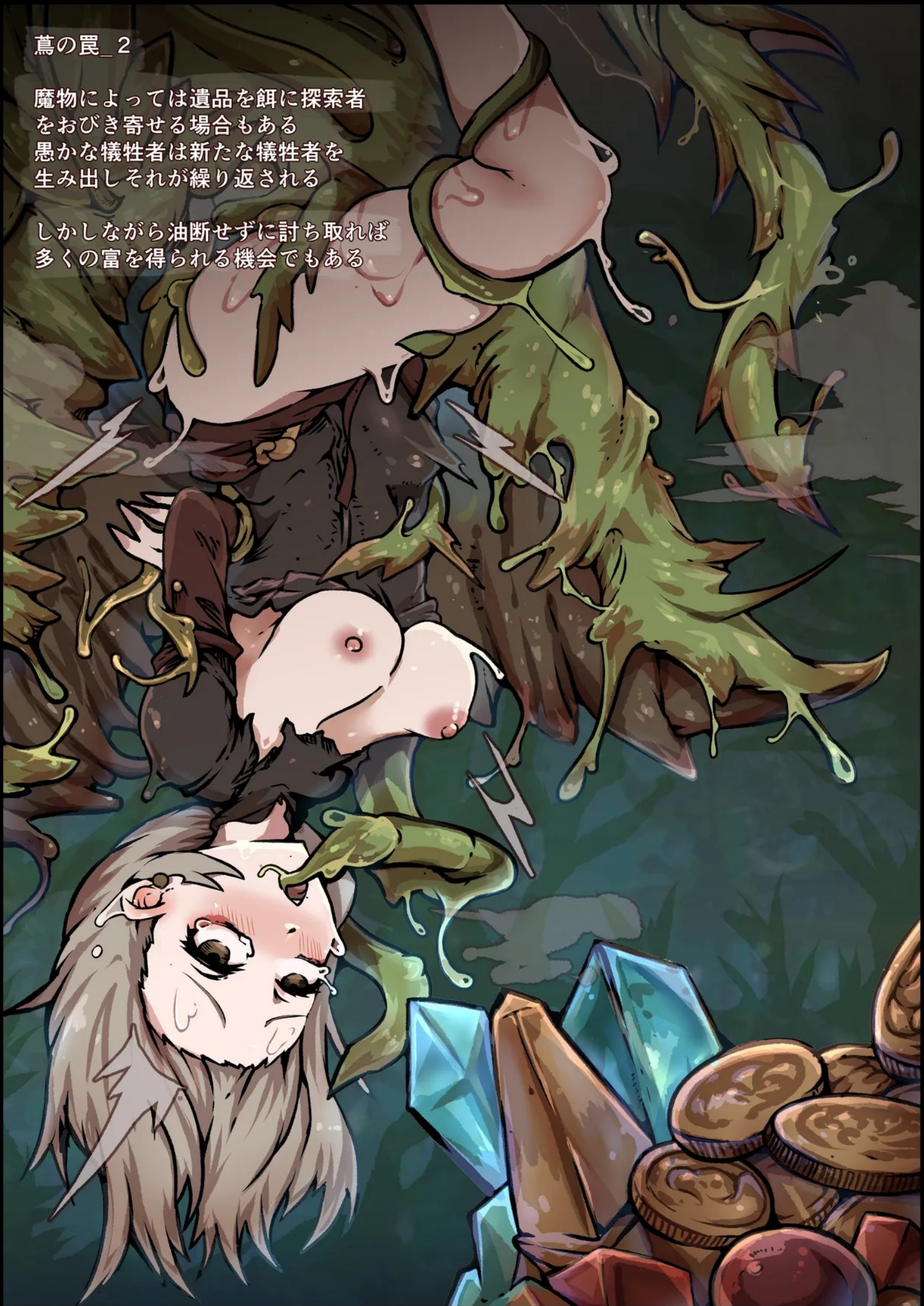
愚者を誘う蕨の罟


迷宮内で得られる素材は高価なものが多く一攫千金を求めて挑む者は後を経たないこの植物系魔物は希少な果実をもつが実力が不相応であれば文字通り苗床として消費さ自身が果実の栄養となる

鳶の罠_2

魔物によっては遺品を餌に探索者をおびき寄せる場合もある
愚かな犠牲者は新たな犠牲者を生み出しそれが繰り返される

しかしながら油断せずに討ち取れば多くの富を得られる機会でもある






迷宮街の影に位置する
裏街 その一角に

それは…
彼女は立っていた



素晴らしいでしょ？

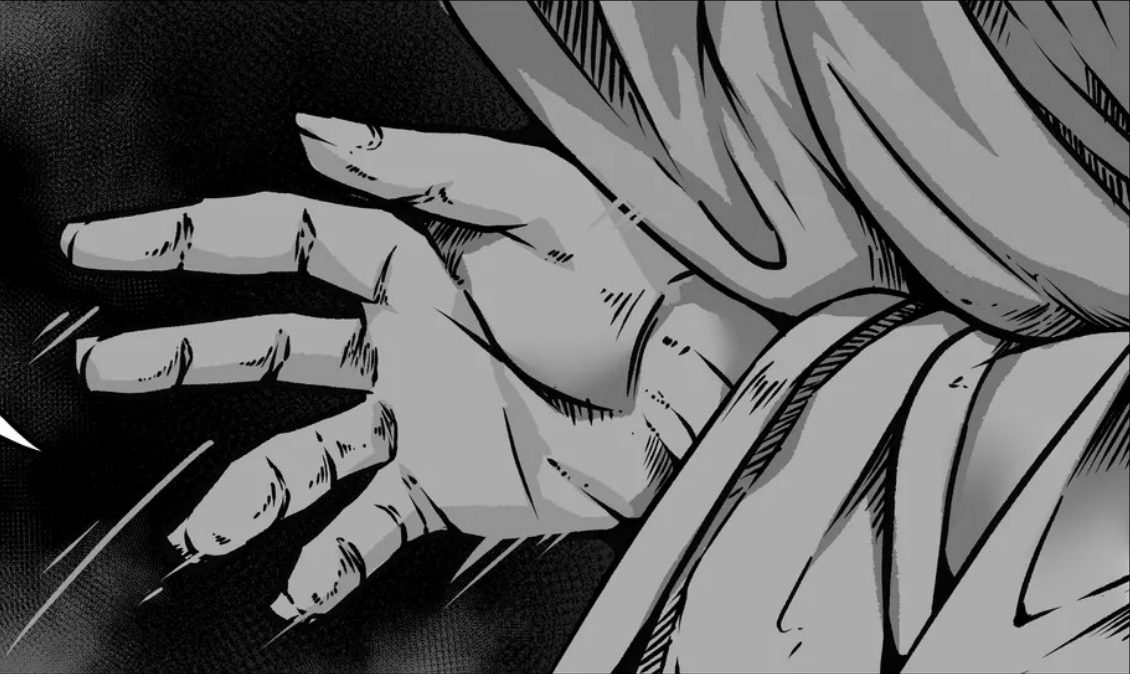
低く落ち着いた声が
背後から響く
おそらく
この店主だろう



ふむ：確かに
なかなかのものだ

しかも彼女…
組合の広場で見かけた
ことがある

秘かにファンがいるとも
聞いたが…こんな
状態になっていたとは




せっかくですから
他の作品も
ご覧くださいな





そういつて店主は他の
作品へと案内した





液化に…石化に
浸食?…

こっちにはまた
植物化してる
モノまで…




裏街の中でも
人によっては
忌諱に触れそうだが




店主曰く

こういった特別な
芸術作品を求める
方々がいらっしやるそうだ…



詳しくは：
知りたくもないのだが

割高の報酬で素材収集の
依頼を出し



成功したら
それはそれで良し
失敗したら：
身分や保証関係で問題
ない者を回収するらしい：

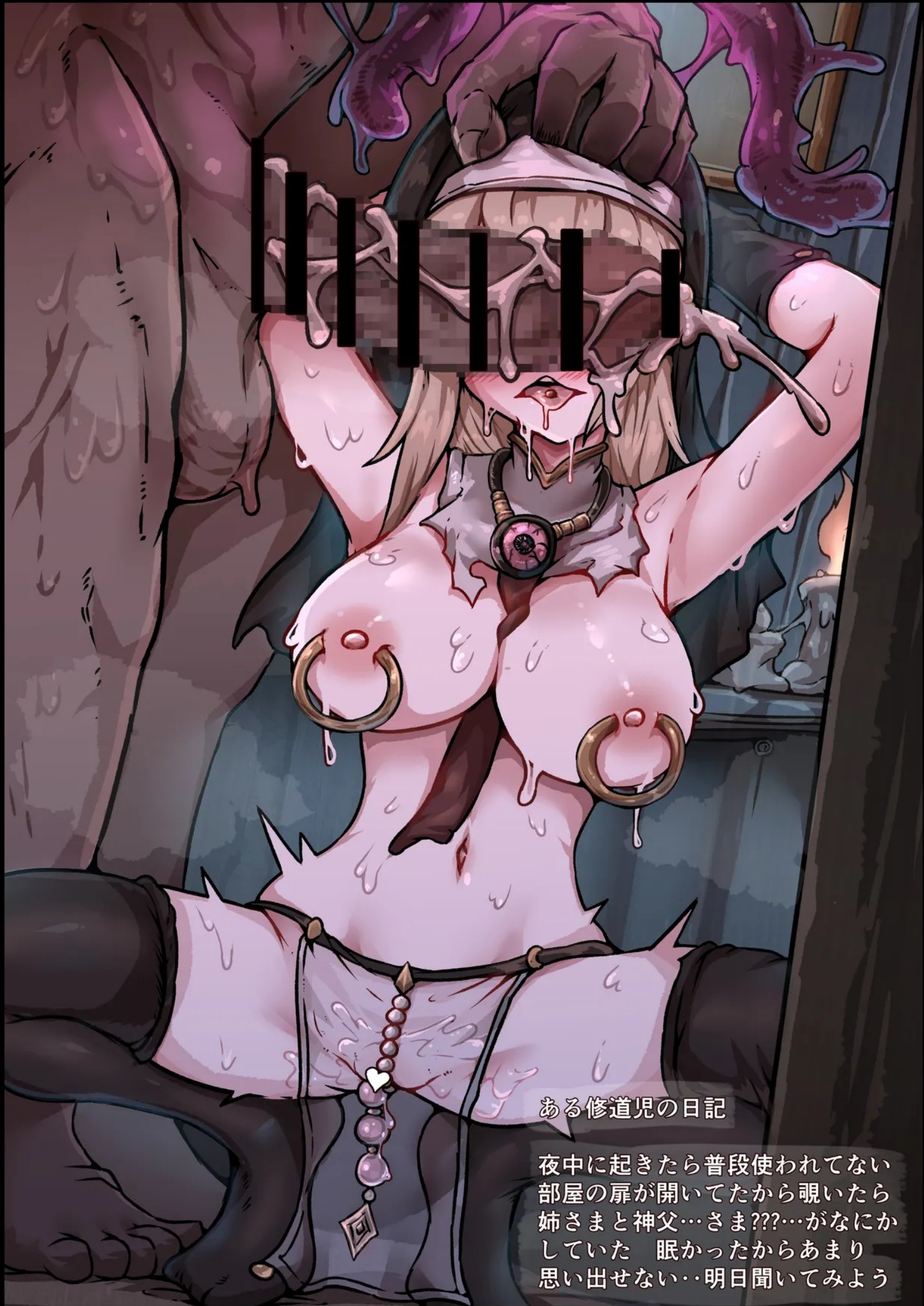
組合はその辺を黙認：
いやな匂いがするなあ

結局のところ
不相応な実力で挑んだ
彼女たちは

金貨を得るところか
自身が金貨で売買される
存在に墮とされたわけだ…

そんな風に考えていると
貴族の使いであろう者達が
店を訪れ…

彼女たちは
運ばれていった



ある修道児の日記

夜中に起きたら普段使われてない
部屋の扉が開いてたから覗いたら
姉さまと神父…さま???…がなにか
かしていた 眠かったからあまり
思い出せない…明日聞いてみよう

修道兇の日記_2

最近 一緒に遊んでいるソフィアのお腹が膨らんできた
気になって姉さまに聞いたけど
神父さまと一緒に浄化の儀式を
しているから心配しないで
と言われた どんなことをして
るんだろう？




埋め込み式催淫魔道具おじさん_続

ある修道児の日記
神父様に呼び出されてからの記憶が
全然なくて…しかも朝起きたら全身
ベトベトンでビックリ お姉さま達は
慌ててたけど何かあったのかな??






村の外れに
ある教会：



そこでは今日も
変わらず
私達は神の御名を
讃えています



ですがここ最近：
生温かい膜がまとわりつく
ような：



信仰の弱さを
悔いています

そんな淫：
…不浄な夢を見続けて

それだけなら
よかったです



誰も使ってない筈の
懺悔室から：いいやらしい
お声が聞こえたり：

日々の日常が
少しづつ変わってきている
気がしてなりません



ですから
あの時に
声のする…

教会の奥にある
あの古びた扉を
開けたのも



生温かい闇の中に
足を踏み入れて
締まったのも

あの…

だ：
誰かいらっしやる
のです…か？

ある意味では
仕方なかったの
かもしれません

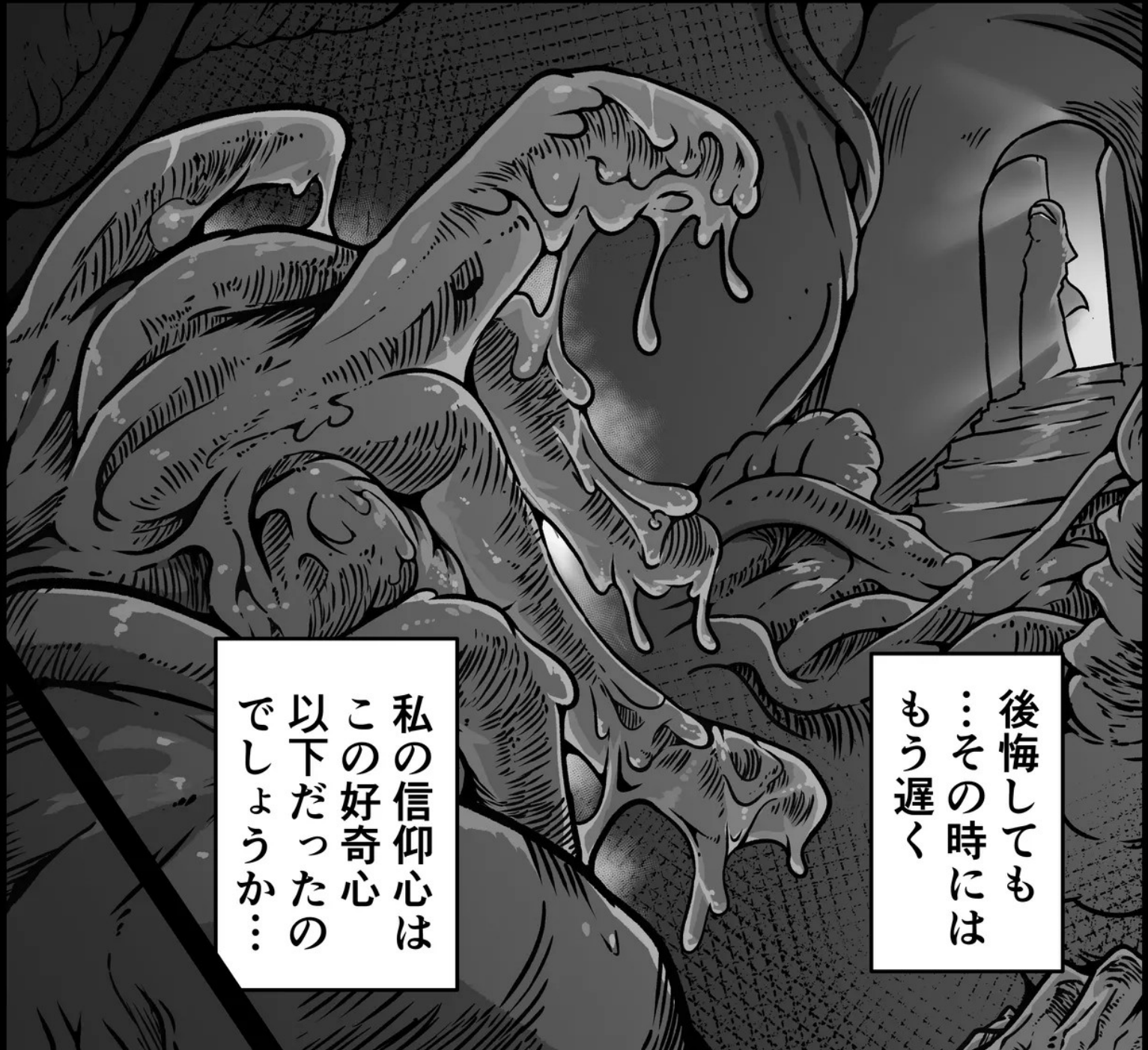




お姉さま……?
……

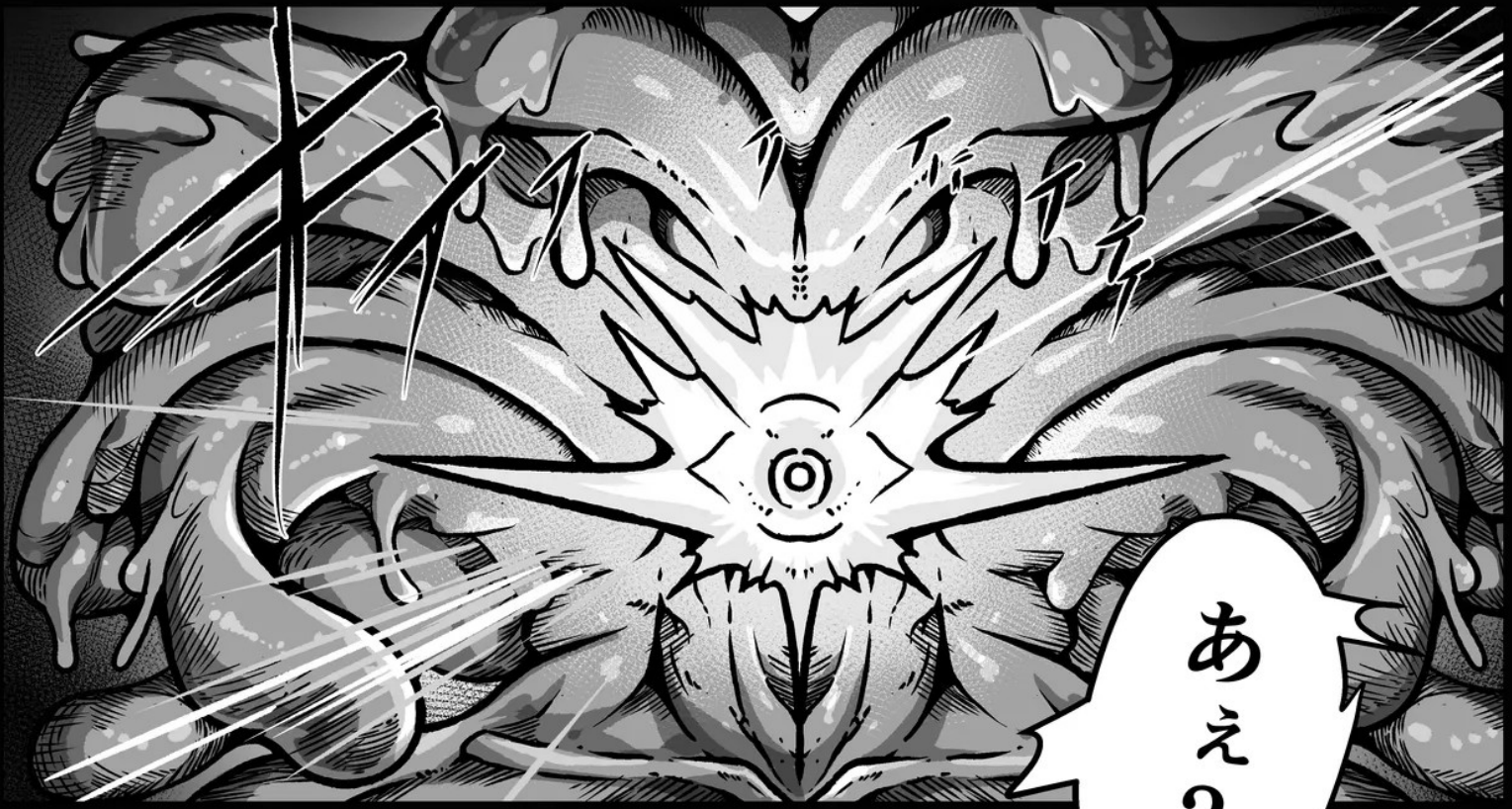


え……
何これ……



私の信仰心は
この好奇心
以下だったの
でしょうか……

後悔しても
……その時には
もう遅く



あえ？



ああっ？

でえっ

でも…きつと
大丈夫です



しい…
神父様に相談すれば
みんな解決します…

ブク♡♡

ビク♡



いい淫乱で
きもちいい
ゆう夢も


すう…素晴らしい
い淫湿なあ美声もお




みいんな あっ
幸せになりますう




あっつ
ああ



寂れた村の
外れに佇む教会



そこでは
半年程前から
邪悪な神を
讃えている
と噂される…



我々が調査に
赴いた時には

生温かい空気が周囲を
包み込み
無数の触手が
絶え間なく蠢く

そんな悪夢のような…
信仰を試される
状況であった



蟲繭の生母

過去に迷宮中層で勢力を拡大した魔物の
変異種と思われる 蛇系統の亜人やナーガ
のように思えるが その実 弱らせた
元探索者を捕食し融合した芋蟲の魔物である
調査に向かった一団が既に犠牲になって
おり早急な対応が求められる



変異元の魔物と違いこの変異種は上層の遺跡に生息している事が現状で確認されている
新たに孵化した個体は襲ったか他が捕らえた獲物を捕食融合する
寄生元の人間が使えなくなった場合でも同様であるため巣には複数の探索者が苗床の様に生かされているようだ

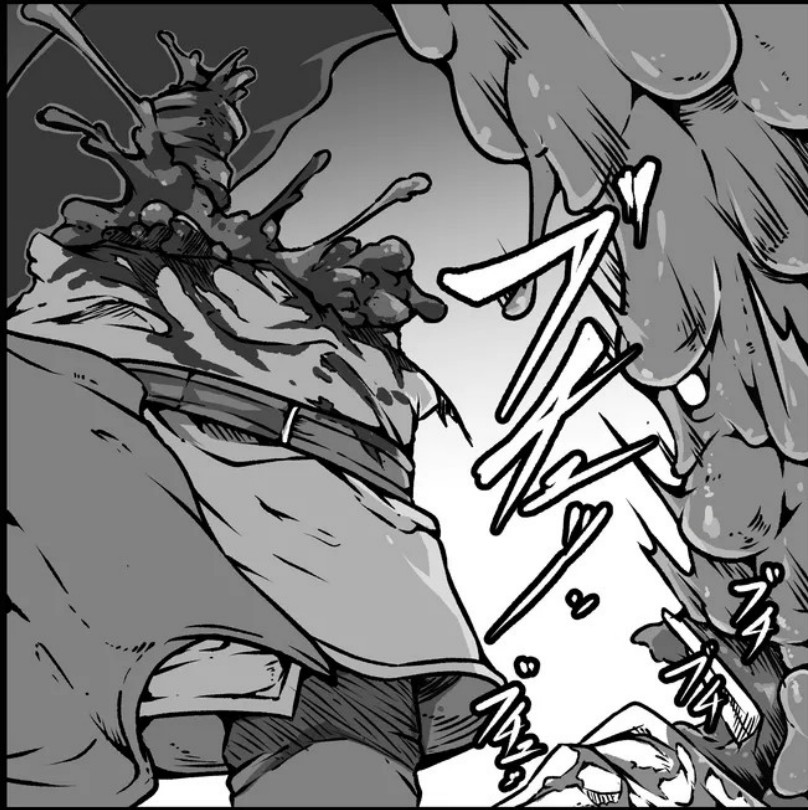


蟲繭の生き壺

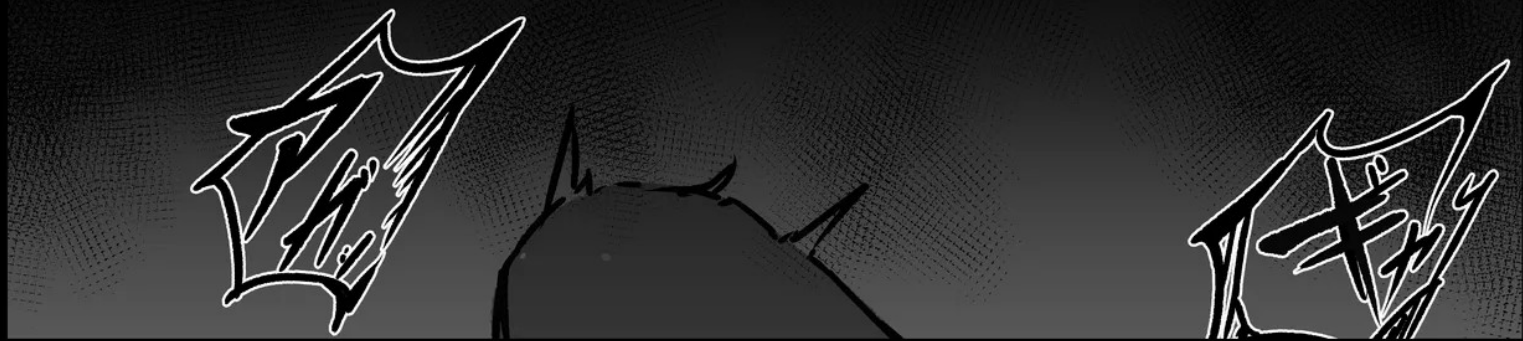
捕らえられ生かされた者達は
自身の下半身が捕食されるまでの間
醜悪な肉の繭に入れられ待つことになる
中では無数の肉触手が蠢き異臭をはなっており
それらが肉体に入り込み弄繰り回していく
そんな状況で正気を保てる者は少くない













他の先輩たちは…



…意識を取り戻した私の
目に飛び込んできたのは



瞳が虚ろだったり
肉の塊に取り込まれたり…

人の声とも言えない
奇妙な声を上げながら
痙攣していて



あれは…
生きてるのかな…?

清楚だった頃の
面影はもうない
マリー先輩の姿…





私自身も
例外ではなく…

意識を戻した
と同時に翳られ
はじめ…



気絶と目覚めを
：繰り返した



姿を消していった

…その後
先輩達は




むしろ…
幸セナ感覚すら…ある

でも不思議なコトに
あまり悲しいと思わない…






どんどん：
同化しテイって…

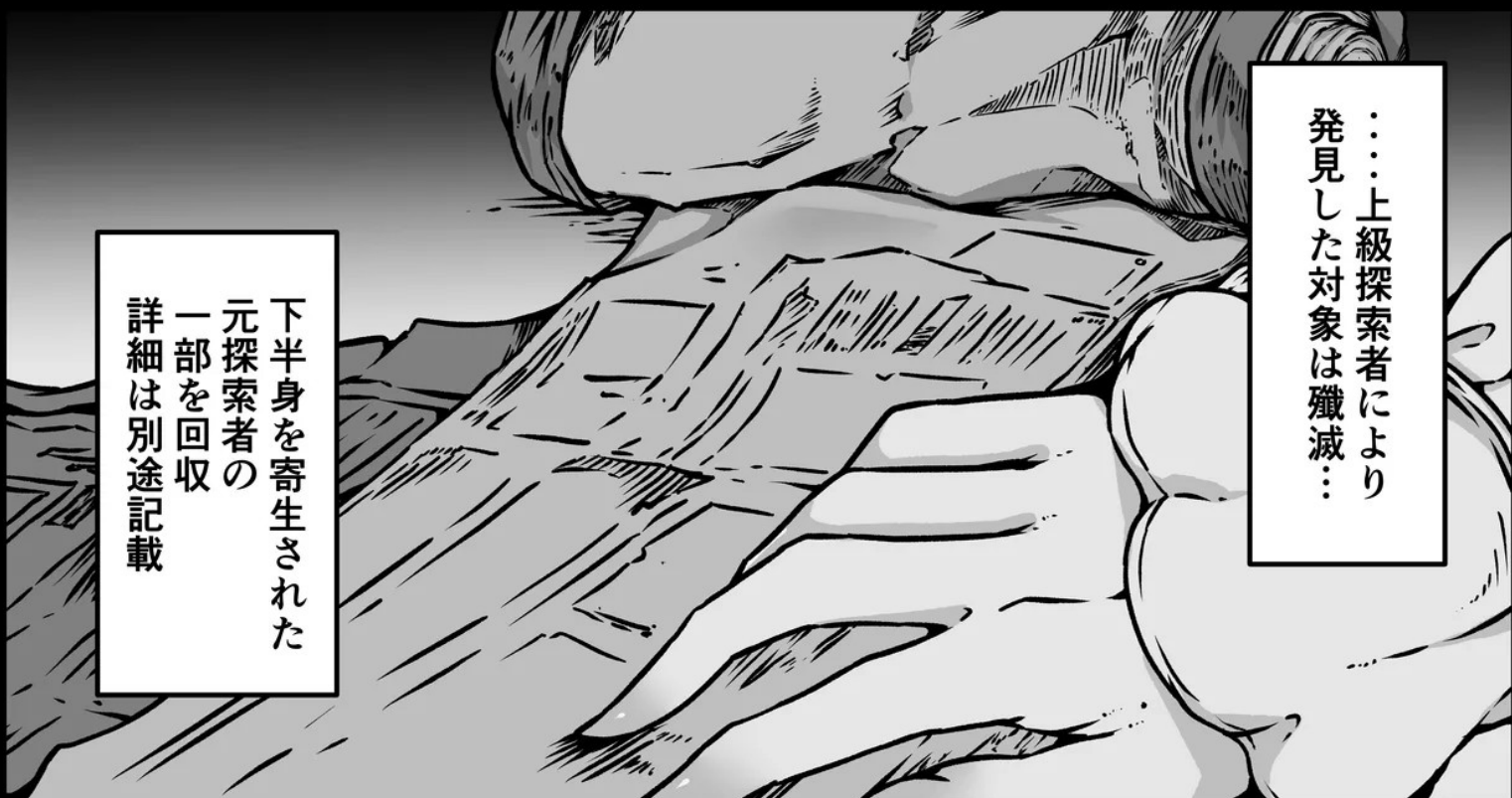


肉が包み込む…
この感覚が…タマラナイ




コンナニ…心地良いなら
誰かに教エテ…あげな…いと

アナタにも
肉ノ祝福ヲ…




：：：上級探索者により
発見した対象は殲滅：


下半身を寄生された
元探索者の
一部を回収
詳細は別途記載




その後の調査では
村娘だけではなく：
その母や姉妹 中には
幼娘までも犠牲になっていた




巢穴で多くは討伐したが
群れの主要個体は
逃げのびた…




寄生によって脳や
内部を変質させられた
者は…討伐も許可される



擬態型の
討伐報酬がまた上がり
多くの新人が
申請を出してきた



遠方で回収された魔道具と
死体…研究所に輸送完了



行方不明だった一党が
発見…一部を回収

とても人には
話せないが：
表では語られない：

生々しい記録を紐解き
その背景を感じ取る

それに魅入られた
私は…今日も

恐怖と好奇心で
新しい報告書を
めくっていく



このたびは本作品をお手に取っていただき
ありがとうございました！

今回で3作目となりますが、普段描いている
「迷宮記録」というイラストシリーズをベースに
漫画を描いてみました。

さまざまなシチュエーションを描けるのは
とても楽しかった反面、それぞれの場面をもっと深く掘り下げたり、
構成をしっかり練れたらよかったなぁと反省もあります(*^-^)

今後はこの経験を活かして、より楽しんでいただける
作品を作っていきたいと思います！
興味がある方は、ぜひPixivのメインページにも
遊びに来てくださいね

これからも引き続き、よろしく願いいたします！

2025・03・15

著者 yukiyuki



当サイトの内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用を固く禁じます。
また、まとめサイト等への引用を厳禁いたします。
無許可の転載、複製、転用等は法律により罰せられます。